

大阪市財政の現状と見通し



平成26年10月

大阪市

目次

I 大阪市の起債運営

- ・起債運営のコンセプト① 3
- ・起債運営のコンセプト② 4
- ・今後の発行 5年債・10年債 5
- ・最近の発行実績 6

II 大阪市の概要

- ・大阪市の概要① ～人口・地価～ 7
- ・大阪市の概要② ～市内総生産～ 8
- ・変革する都市・大阪と今後の成長戦略①、② 9

III 財政の現状

- ・市税収入の推移 11
- ・大阪市の課題 ～生活保護費の適正化①、②～ 12
- ・財務リスクに係る取組・処理状況 14
- ・財政健全化法における4指標 15

IV 今後の見通しと取組

- ・市債残高の推移 19
- ・市債発行額と公共事業費の縮減 20
- ・公債償還基金の残高 21
- ・通常収支（収支不足）の状況と対応 22
- ・ムダを徹底的に排除し、
成果を意識した行財政運営 23
- ・財政健全化への取組み ～人件費～ 24
- ・広域行政・二重行政の一元化と
事務事業の連携に向けた取組み①、② 25
- ・新たな大都市制度に向けて 27

V 市場からの資金調達

- ・高い格付けの維持 28

起債運営のコンセプト①

■ 市場との対話を重視した起債運営

■ 24年度から 全年限において主幹事方式を採用

	23年度まで
5年債	引合(入札)方式
10年債	引合(入札)方式
超長期債	主幹事方式



24年度～
主幹事方式
主幹事方式
主幹事方式

起債運営のコンセプト②

起債テーマ「発行価格の信頼性向上」

- 幅広い投資家との対話を踏まえた実需に基づく条件決定を行うことで発行条件の信頼性を高める
- 主幹事方式の特徴である「均一価格（発行条件）での投資家向け販売」を徹底し、投資家に安心して発行価格で購入していただける起債運営を行う

⇒（以上の2点を徹底することで、）

投資家が本市債を発行条件で購入された後、流通市場でも適切に価格が形成され、安心して継続保有や売買ができることにより、投資家の満足度を高めていく

上記起債テーマに基づいた投資家重視の起債運営を一貫して行うことで、
安定的な調達基盤の構築を図る

今後の発行 5年債・10年債



発行概要	5年債	10年債	
	条件決定日	平成26年11月14日(金)	平成26年11月19日(水)
	発行額	100億円	100億円
	払込日	平成26年11月26日(水)	平成26年11月28日(金)
	償還日	平成31年11月26日(火)	平成36年11月28日(木)

主幹事：(5年債)野村證券、SMBC日興証券、みずほ証券
(10年債)大和証券、東海東京証券、三菱UFJモルガン・スタンレー証券

平成26年度 大阪市 全国型市場公募地方債 発行予定

平成26年9月末現在(単位:億円)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
個別市場公募	1,750												
5年債	500		150				150		100		100		
10年債	550		200				150		100		100		
短期債	400	200	3年債					← 200 →					
超長期債	300					150	15年債			← 150 →			
フレックス枠(年限・発行方式未定)	650							← 650 →					
共同発行債	800	100	100	60	60	60	60	60	60	60	60	60	60

※ 発行月及び発行額は今後の状況変化により変更される可能性があります。

5年債・10年債

	25年9月	25年11月	26年1月	26年5月	26年9月	
5年債	条件決定日	平成25年9月10日	平成25年11月13日	平成26年1月16日	平成26年5月16日	平成26年9月12日
	発行額	150億円	100億円	100億円	150億円	150億円
	応募者利回り	0.322%	0.245%	0.244%	0.214%	0.194%
	国債対比(カーブ)	+5.0bp	+4.5bp	+4.0bp	+2.5bp	+2.0bp
	シ団組成	○	○	—	○	○
10年債	条件決定日	平成25年9月10日	平成25年11月13日	平成26年1月23日	平成26年5月21日	平成26年9月18日
	発行額	100億円	100億円	100億円	200億円	150億円
	応募者利回り	0.826%	0.694%	0.767%	0.670%	0.593%
	国債対比(カーブ)	+6.0bp	+8.0bp	+8.0bp	+6.5bp	+3.0bp
	シ団組成	○	—	—	○	○

- ・ 需要動向を踏まえて適正なスプレッドを設定
- ・ 超過需要を創出し、可能な限りシ団を編成することを重視
- ・ 需要を着実に積み上げ、増額を実現(5年債:25年9月・26年5月・9月、10年債:26年5月・9月)

超長期債

30年債	25年8月
条件決定日	平成25年8月23日
発行額	150億円
応募者利回り	2.008%
スプレッド(カーブ)	+18.0bp
シ団組成	—

- ・ 3年ぶりに30年債を発行
- ・ 予定額を上回る需要が集まり、発行額を150億円に増額

15年債	26年8月
条件決定日	平成26年8月7日
発行額	150億円
応募者利回り	0.986%
スプレッド(カーブ)	+3.0bp
シ団組成	—

- ・ 2年半ぶりに15年債を発行
- ・ 予定額を上回る需要が集まり、発行額を150億円に増額

短期債

3年債	26年4月
条件決定日	平成26年4月18日
発行額	200億円
応募者利回り	0.142%
スプレッド(カーブ)	+3.5bp
シ団組成	—

- ・ 主幹事方式導入後初となる3年債を発行